

ルート

トランプ



予想外

同志社中が作成、市販

京都市左京区の同志社中が作成し、市販もしている特製トランプ「ルートトランプ」が予想外の売れ行きを見せている。

発売から2年で予想の倍近い約1800個も売り上げ学校側も驚くが、折しも米国では大方の予想を裏切る形でドナルド・トランプ氏が次期大統領に選ばれ、トランプマスクが売れるなどの現象



授業の中でルートトランプを使ったゲームで平方根を学ぶ生徒
(京都市左京区・同志社中)

平方根で遊び 売れ行き倍近く

も起きている。「同じ『予想外』でも、こちらは誰も不安を感じることなく楽しく遊べる」とトランプ効果に期待をかけアピールを強めている。

「ルートトランプ」は、中学3年で習う平方根を楽しく学ぶための道具で、普通のトランプと同様に数字の書かれた52枚とジョーカー2枚がセットになっている。ただ、カードに書かれた数字には $\sqrt{8}$ や $\sqrt{4} \times \sqrt{2}$ など平方根が含まれ、 $\sqrt{8}$ と $\sqrt{4} \times \sqrt{2}$ が同じ値であることが理解できて初めて「神経衰弱」や「ばば抜き」といった遊びを楽しめる。

学校では、教員が厚紙に数字を手書きするなど20年以上前からルートトランプを使い、印刷したトランプを作り始めた2014年からは市販も開始。郵送で取り扱うほか全国のジュンク堂書店でも販売するようになり、当初予想していた2年間で千個の売り上げを上回って利用者の裾野が広がっている。

「トランプ」の名前が話題になっている今、開発に携わった数学科教員の園田毅さん(50)は「まさかトランプ氏が当選するとは思ってなかったが、この機会に僕らのトランプのことももっと広げたい」と話している。

(太田敦子)